

福居

挑戦 あじさい



岡山 宇太郎 書



・会長挨拶	2
・県連会長の言葉	3
・平成28年度Y E G活動報告	4
・特集(シンガポール海外研修報告) ...	14
・卒業生の言葉	15
・平成28年度委員長コメント.....	16
・平成29年度会長抱負／委員長抱負	18
・組織図／会員企業一覧	21
・新入会員紹介	23
・あじさい会通信／結婚・おめでた／ 西木田通信	26

vol.117



福井商工会議所青年部会報

発行日／平成29年3月12日

発行者／山 岸 範 之

編集者／清 水 孝 行

発行所／福井商工会議所青年部総務・渉外委員会
福井市西木田2-8-1

TEL:0776-33-8253 FAX:0776-36-8588

Just Do It YEG ～あくなき挑戦～



福井商工会議所青年部
平成28年度会長
山 岸 範 之

平成28年度も残りわずか。目を閉じるとこの1年の出来事が走馬燈のように脳裏を駆け巡ります。絶好の好天で開幕した平成28年度最初の事業である春祭り事業。多くの参加者で溢れかえり、苦しいながらも、笑顔と感動で満ちた1年が始まりました。

「Just Do It YEG ～あくなき挑戦～」というスローガンの下、福井YEGメンバーと共に取り組みたかった事は、「YEGは挑戦する団体である」ということ、「失敗を恐れずに前に向かって歩み続ける団体である」ということ、そして、何より例会や事業を構築し、同じ時間を共有する事によって、メンバーの1人1人が、YEGの中に「居場所」を作ることでした。

45歳定年制という限られた時間の中で、一瞬一瞬を目一杯に輝き、がむしゃらに突き進む事によって、会社でも家庭でも得ることのできない貴重な体験と、素晴らしい思い出と、そして一生の仲間を作る。これがYEGの醍醐味であり、原点であると思います。そのため、各委員会には今まで以上に多くの例会や事業、また、全く新しい事業の構築等、多くの事に「挑戦」して頂き、素晴らしい成果を挙げて頂きました。例会や事業が終わった後の、達成感に溢れたメンバーの顔を見ていると、改めてYEGの素晴らしさを実感しました。

今年度は、数多くの例会や事業を展開してきましたが、会長1人では何もできません。委員会をしっかりと導いてくれる副会長と委員長。そして、委員長を支える副委員長と委員会メンバー。メンバー1人1人の力添えがあってこの1年を乗り切ることができた事に、心から感謝を申し上げます。素晴らしい1年を送らせて頂きまして本当にありがとうございました。



結 束

～人を繋ぎ、地域を繋ぎ、未来へ繋ぐ～



福井県商工会議所青年部連合会

平成28年度会長

高 木 秀 樹

結束～人を繋ぎ、地域を繋ぎ、未来へ繋ぐ～

平成28年度は、福井商工会議所青年部連合会会長として「結束」～人を繋ぎ、地域を繋ぎ、未来へ繋ぐ～をスローガンに活動させていただきました。

人を繋ぎ

本年度は9月に福井県青年友好4団体締結式という事で、福井県商工会議所青年部連合会、福井県商工会青年部連合会、福井県中小企業団体青年中央会、日本青年会議所北陸信越地区福井ブロック協議会の4団体が友好関係を締結しました。団体は違いますが、同世代の仲間が地域の未来を良くしたいという想いのもと活動しています。この締結が今後より深い人の繋がりとなって明るい未来を創造する事を期待します。

地域を繋ぎ

平成25年度に福井県連では「未来ビジョン宣言」を発表しました。キャリア教育事業においても、まちづくり事業においても郷土愛を育む取り組みに力を注ぎ、まちの発展も、ビジネスの発展も郷土に根ざす人づくりであるという理念のもと未来ビジョン委員会が活動を続けています。本年度は県内7単会がこの理念に沿った事業を同時期に開催する事ができました。この活動が更に発展し、来年度は県の協力をいただきながら、県内7単会が同一の事業を開催できる流れも見えて来て非常に楽しみです。

未来へ繋ぐ

本年度の大きな決定事項として、昨年度より誘致活動を行っていた平成32年度全国大会開催を近畿ブロック内で承認いただく事が出来ました。福井県連が主管となって鯖江の地で開催を予定しています。YEGとして活動する中で全国大会を現役として経験できるチャンスは本当に貴重な事です。是非ともメンバー1人1人が主体的に関わり、福井県連全体の力で全国大会の開催成功に向けて歩んで行きましょう。

人は自分自身でどんなに磨いても限界がある。

しかし人は、他人とのちょっとした出会いで、一瞬で変わる。

「人は人でしか、磨けない」

私のYEG生活において、人との出会いと繋がりこそが財産であり学びです。

YEG活動で培った繋がりを大切にし、さらに広げ深める事で、今後も自企業の発展、自分自身の成長、そして地域の発展へと繋げて行きましょう。

最後に、1年間支えていただいた岡山専務理事、佐々木会計、事務局、本当にありがとうございました。

非常に充実した1年をありがとうございました！

第31回ふくい春まつり参画事業

福井城址の堀底を会場に、桜男と呼ばれた岩堀貞雄氏の物語をモチーフにした演劇「サクラ男」の上演や、桜の名所をめぐるまち歩き、お堀でカフェ、桜野点、笏谷石ブースなど、春の福井の観光資源・桜を愛でることをテーマに各コンテンツを企画運営させて頂きました。

また、「サクラ男」では市内演劇部の高校生の皆さん、桜野点では順化ジュニアリーダーの皆さんなど次世代の子どもたちとの企画運営は、我々福井YEGメンバーとしても大きな気付きを得ることが出来たのではないかと思います。

開催当日の4月2日は、快晴・桜満開という絶好の日和にも恵まれ、本当に多くの方々にご来場頂くことが出来ました。



4月定期総会

4月20日(水) 18:30より、福井商工会議所ビル地下国際ホールにて総務・渉外委員会担当の4月定期総会を開催しました。

4月定期総会は平成27年度の活動を総括すると共に、平成28年度福井YEGが新たな体制でスタートするための重要な会議です。

冒頭、去る4月14日に発生した熊本地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表し、黙祷を行った後、青年部会員一同により商工会議所青年部の歌「伸びゆく

大地」を斉唱、朝田君の「YEG宣言」、玉村君の「綱領」朗読・「指針」唱和が行われ、山岸会長より挨拶が行われました。

議案審議後、平成27年度森下会長より退任の挨拶が行われ、1年間の活動を振り返りながら、会員全員に感謝の言葉を述べられました。森下会長、1年間本当にお疲れ様でした。

その後、会員一同を代表して山岸会長から平成27年度森下会長に花束と記念品が贈呈されました。

4月定期総会は無事終了し、その後、同会場にて集合写真を撮影しました。



4月度例会

4月20日(水) 20:05より、福井商工会議所ビル地下国際ホールにて総務渉外委員会担当の4月例会を開催しました。

4月例会は、平成28年度スローガンの「Just Do It YEG」あくなき挑戦」の下、

これまで築き上げてきた事業をより素晴らしいものへと発展させるため、会員1人ひとりに会長並びに各委員長の活動方針に込めた思いを理解していただくと共に、各委員会内で①会員の結束、②年間



の挑戦目標、③会員の増強」をテーマに3つ目標を立てて頂き、委員会の結束と組織の強化を図ってもらうことを目的に開催しました。

本例会では委員会毎のテーブルに分かれて頂き、今年度の活動内容を交えながら、3つの目標について活発なディスカッションをして頂きました。

各委員会ともしっかりと意見を出し合っており、最後、そこで出た意見を各委員長に発表して頂きました。本例会で発表して頂いた3つの目標は、今年度の委員会議事録に記載してもらうほか、福井商工会議所青年部のホームページに掲載しました。

代議員総会

5月14日(土) 15:30から福井県商工会議所青年部連合会代議員総会を福井商工会議所ビルコンベンションホールにて主管開催しました。

代議員総会は、岡山専務理事の司会進行の下、厳粛に進行され、平成27年度事業報告並びに収支決算(監査)報告、平成28年度事業計画(案)並びに収支予算(案)がいずれも無事に承認されました。

代議員総会後は、ランチエスタマーネジメント金沢代表小嶋隆史氏による講演会を開催。講演テーマは「立て直し成功事例からみるランチエスター戦略のポイント」で、具体的な数字を基に濃密な講演をいただき、



活動報告

今後の自社の成長に有意義なものになったと思います。

懇親会では、参加者にて懇親を深めました。余興では、各単会の会長または代表者に前に出てもらい、色々な質問に答えて頂き、高木県連会長に最も心に残った回答を選んで頂きました。優勝者は大野YEGの山田会長、賞品である梵の純米大吟醸を持ち帰られました。

今回は代議員の方以外にも講演会及び懇親会に参加して頂き、各単会同士の交流も深まったと思います。また、総会の準備等について総務渉外委員会のメンバー以外からも参加頂き、ありがとうございました。

5月度例会

平成28年5月25日（水）福井商工会議所地下コンベンションホールにて5月度オープン例会（Online）次代を担う子ども達のために〜が開催されました。

我々YEGが行っているアントレ・キッズとこれから目指すべきキャリア教育の方向性を模索するために、福井市内の校長先生やPTAの方々をお招きし、それぞれの抱える現状や課題の共有を行い、将来像についてグループワークで意見交換を行いました。



YEGのプレゼンテーションでは、学校・地域・企業が一体となったキャリア教育の推進の必要性に触れ、その後、キャリア教育で先進地域である円山地区の横山YEG会長様と同地区PTAの福田副委員長が円山地区の取り組みについて紹介がありました。

この例会では、100名以上の様々な業種のメンバーが、自社成長のために挑戦している様々な取り組みを知ってもらい、会員間の異業種交流ディスカッションを行う事で会員各自の自社成長のための新たな視点を発見してもらうために開催しました。

平成28年度YEG交流会

6月11日（土）、敦賀にて県連主催の平成28年度YEG交流会が開催されました。今年度は敦賀YEG、小浜YEGの3単会で交流会でした。

会場となった敦賀市立博物館では「義の武士道 大谷吉継」をテーマに講話をいただいた後、館内を見学。

その後場所を移した敦賀きらめき温泉リポートにて交流会が開催されました。主管いただいた敦賀YEGの皆様、ありがとうございました。

今回の交流会では行きのバスの中で歴史に関するクイズを行うなど、会員の皆様が楽しめる企画も行い、好評でした。



6月度例会

6月22日（水）福井商工会議所地下国際ホールにて、ビジネスライ委員会担当の年6回のうちの第1弾として、「自社成長へのあくなき挑戦1〜新たな視点の発見〜」を開催しました。

7月27日（水）福井商工会議所地下国際ホールにて、「自社成長へのあくなき挑戦2〜戦略的コミュニケーション編〜」を開催しました。

7月度例会

今回の交流会では、100名以上の様々な業種のメンバーが、自社成長のために挑戦している様々な取り組みを知ってもらい、会員間の異業種交流ディスカッションを行う事で会員各自の自社成長のための新たな視点を発見してもらうために開催しました。



自分の考えていることを整理し相手に伝えるうえで、社員や取引先、顧客など、それぞれ立場の違った相手に合わせ「どう伝えるのが最も効果的で効率的か」を戦略立ててコミュニケーションを図る事が必要です。「伝える力」はビジネスにおいて、問題解決や意思決定、仕事の効率化や業務拡大に繋がるとも重要な能力です。

そこで、異なる問題を出すことにより、聞く側、話す側が互いに考え、立場や環境によって、「どうすればわかりやすく伝える事が出来るか」、「どうして伝わらなかったのか」について考えながらディスカッションしてもらい、うまく伝わったポイントをもとめてもらいました。

参加した会員からは、「こうすればよかったんだ」「ここを直せばもっと良くなる」などの活発な意見交換が出ていました。



えきまえアントレ・キッズ

8月20日(土)に今年で9回目を迎える「えきまえアントレ・キッズ」が開催されました。まちづくり福井株式会社主催、福井商工会議所青年部共催による、福井駅前周辺の実店舗において、小学校5・6年生の児童たちに就業体験を通じて、働く意義を知り、仕事への夢をもってもらい、また中心市街地への親しみと新たな発見を目的とした事業です。

今年は、ハピリン開業の記念すべき年であり、参加

企業数35店舗、親子合わせて約300人が参加されました。そして、学生ボランティア団体(NEXT YEG響)を結成しご協力していただきました。

当日は、開校式からスタート。受付から指定席への誘導を青年部メンバーとNEXT YEG響で担当しとても積極的な活躍で感動しました。開校式では漫才に見立てたマナー講座と挨拶等を学び、各体験場所に移動します。体験先ではたくさんの方の驚きと笑顔が見られ、体



験終了後には各店舗で認定証を授与。最初はガチガチに緊張していた児童が楽しく笑顔で体験している姿は、とてもほほえましいものでした。

今年はハピリンテラスの大型ビジョンで「えきまえアントレ・キッズ」の映像を流したり、たくさんの方のアイデアの取材を受けました。参加児童のアンケート結果も「参加して良かった」「また来年も参加したい」といったお声を多数いただきました。

第63回福井フェニックスまつり事業

今年も佐佳枝廻社境内を会場に、3回目となる「子どもパレード」の運営と、今年度着目した市内49地区への働きかけとして企画した「49王国」を中心に企画運営を行いました。

福井市内各地区のまちの宝や取り組みなどをブース出店・ステージ発表という形で「発信」する「49王国」では、12地区の皆さんに参加して頂き、市内外の方々に知られざる福井のまちの魅力に触れるきっかけを作り、「子どもパレード」では、参加園の先生や保護者の方に実行委員会から参加・ご協力頂くことで、子どもから大人まで「市民参加型」のフェニックス祭りを目指しました。

また、「フェニックスカフェ」では、YEGオリジナルメニューを考案、福井独特の食文化を楽しんでもらいながら伝えることに挑戦しました。

開催当日は、多くの方に来場して頂き、様々な福井の魅力に巡り合う場として運営出来たのではないかと思います。



8月度例会

8月24日(水) 19時より福井商工会議所地下国際ホールにおいて、「自社成長へのあくなき挑戦3」本質を見極め伝える力編」を開催しました。

講師としてクリエイティブ・ディレクターの岸徹氏をお迎えし、「本質を見極め伝える力」をテーマとした講演とワークシヨップ形式のセミナーを実施しました。自分たちで考えた自社の新規事業の企画書などをまとめていき、どのように本質を見極め、自分の考えを短時間で相手にどう伝えるかの技術などを学びました。参加いただいた会員からは「今まで聞いたことがない話で良かった」という意見が多く、講師の岸先生の実例を交えたお話や、ワークシヨップ型のセミナーで、「物事の本質はどういうところにあるのか」とか、「それをどう相手に伝えるのが効果的か」をしつかりと学べた例会となりました。



まちキッズふくい

「キャリア教育」と「まちづくり」の視点から新規事業として、まちひとめぐり委員会と人財育成委員会との合同事業で企画運営しました。

小学生の子どもたちを対象に、自分たちが住むまちではなく自分たちが知らないまちの宝を発見し伝えることまでをグループワークで作りに上げていく内容で、ヒアリング・フィールドワーク・ワークシヨップ・ブースの出演まで計4回の日程で実施。子どもたちが自分の力で発見し仲間と協力し、形にしていこうという

工程はキャリア教育の根幹であり、参加した体験を子どもたちの郷土愛を育むきっかけに繋げることを目指し、両委員会メンバーで構築しました。

当日は計18名の子どもたちと5つの地区に参加して頂くことが出来ました。

多くの課題点を発見出来たこともありますが、何よりも子どもたちの豊かな可能性を間近に感じることが出来たのは、私達YEGメンバーにとって思いがけない大きな実績になったと思います。



新入会員オリエンテーション

平成28年9月9日(金)、総務・渉外委員会担当の新入会員オリエンテーションを開催しました。山岸会長の挨拶後、昨年度後期から今年度前期の入会メンバーを対象に「YEGとは?」「県連とは?」「日本YEGとは?」などを各担当者から、今年度の各委員会の取り組み等をそれぞれの委員長から伝え、最後には入会2〜3年目を迎えた先輩達からエールを送りました。

今回のオリエンテーションにより、新入会員の皆様有福井YEGのことを知り、他メンバーとの交流が深まったなら幸いです。



9月度会員交流オープン例会

9月24日(土)に9月度会員交流オープン例会「誰かに言わずにいられない! Enjoyゆるスポオリピック」を福井市北体育館にて開催致しました。

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックで世界中が盛り上がった2016年、新入会員の次世代成長委員会が初めて担当し企画したのがゆるスポでした。ゆるスポとは、運動の得手不得手、性別、年齢など関係なく楽しめるバリアフリーなスポーツで、今回3種目をご用意し、ゲスト(一般参加者)&会員の混合チーム毎に体験してもらいました。

バブルサッカーでは、球体の浮き輪状の中にプレーヤーが入りコート内に入り乱れながらの激しいぶつかり合い。サッカーというより格闘技に近い状態でした。一方、100cmリレーはその真逆。100cmをいかにゆっくり進むかがポイントで、みんな足がプルプル震えながらこらえていたのが印象的でした。

手錠バレーは、通常のバレーとルールは同じながら、手には布手錠が。アタックもサーブも両手という妙な感覚でのプレーということもあり、珍プレー続出し盛り上がりしました。

リライムに場所を移しての懇親会では、ゆるスポオリピックの映像や表彰式、そしてYEG活動紹介映像などで盛り上がりながら交流を深め、楽しい懇親の機会となりました。

ゲストの一般参加者の方からは、ゆるスポを通じた交流できたことで福井YEGがどんな団体で、どんな人たちが、どんなことをしているのかを知ることができた。本当に楽しかった...



などのお声を多数いただくことができ、会員共々汗と笑いが飛び交う楽しい交流例会となりました。

第34回近畿ブロック城陽大会

平成28年9月30日から10月1日、京都府城陽市において第34回近畿ブロック大会城陽大会が開催され、福井YEGは前泊者を除き、10月1日から参加して2日に帰福する行程でした。

大会は、式典から分科会、大懇親会に至るまで、大変な苦勞のもとで企画・設営されたものが分かるもので、大変有意義なものでした。福井YEGからも新入会員及びOBを含めて40名近い方が参加頂き、お互いに親睦も深まったと思います。

今回の大会では、大懇親会の後に、吹田YEGさんとの交流会も開催されました。短い時間ではありましたが、吹田YEGさんと事前に内容等を練り開催したもので、大変盛り上がり、新たな絆ができたことと思います。吹田YEGさんありがとうございました。

10月1日は、近江牛を堪能した後、彦根城に立ち寄りしました。近江牛の味は大変良く、彦根城は登るのに一苦勞しましたが、最上階からの眺めは絶景であり、皆様楽しんで頂けたと思います。



大野YEG 「創立30周年記念式典及び祝賀会」

平成28年10月22日、大野YEG創立30周年記念式典及び祝賀会に参加いたしました。福井YEGからは25名近くのメンバーが参加し、大野YEGさんの創立30周年をお祝いするとともに、福井県連各単会のメンバーと親睦を深めることができました。

講演会では、宮城県石巻市の洞源院住職夫人である小野崎美紀氏の講演を聞き、命の尊さや色々なことを考えさせられました。

往復ともに朝田監事の運転するマイクロバスに乗り込むことができ、移動のストレス無く式典及び祝賀会にも参加できました。朝田監事ありがとうございました。

他単会の方々と親睦を深めることができ、仲間の広がりを生み出すことができました。



10月度例会

10月26日（水）19:00より福井商工会議所地下国際ホールにおいて「自社成長へのあくなき挑戦4」決算書から考える事業計画編」を開催しました。

谷川会計総合事務所の谷川俊太郎氏を講師にお招きして、単に決算書を見る、または読み解くだけでなく、そこからどのように次の事業計画を立てていくか、どうすればその事業を成功に導くことができるかをわかりやすく事例などを交えながら解説していただきました。

そして、その中からどうすれば自社成長への挑戦ができるかなどを学びました。山岸会長の年間活動方針にあった、会員の資質向上に繋がる、良い例会となりました。



11月度例会

11月22日（火）福井商工会議所国際地下国際ホールにて「自社成長へのあくなき挑戦5」人生のリスクマネジメント編」と題し、1部として個人のライフプラン設計の必要性を青年部会員でライフプランナーの福田智司君に教えていただき、2部では、青年部メンバーから弁護士、保険業、社労士、税理士など会社経営や生活するうえで欠かせない分野のエキスパートに集まっていたいただき、経営者として企業に必要な資金、人材等のリスクマネジメントの知識を学びました。せっかく専門知識と資格を持った会員がいるのにその知識を学ばない理由はないという事で、委員会の方針でもある会員間の交流ができる事業としての例会ができました。

日本商工会議所青年部 第34回全国会長研修会かこがわ会議

平成28年11月25日（金）～26日（土）の2日間、兵庫県加古川市において「日本商工会議所青年部第34回全国会長研修会かこがわ会議」が開催されました。全国から平成29年度会長予定者を始め、平成28年度会長、事務局員並びに熱意を持った会員が集結し、福井YEGからは9名が参加しました。

1日目は会員総会の後、開会式が行われ平成28年度日本YEG岡村会長や来賓の挨拶の後、平成29年度日本YEG会長予定者の吉田大助君が全国から集まった会員に向け、次年度に向けての所信を表明されました。

開会式終了後は、分科会に分かれ、私は今回の会長研修会のテーマである「以和為貴」の心を学ぶため、第4分科会12（太子ゆかりの地で「以和為貴」の心を学ぶ）に参加しました。この分科会では、聖徳太子が恵徳法師の教えを受けたとされる、刀田山鶴林寺で「座禅」「写経」を通じて、経営者として大切な「和」の心を学ぶことができました。

その夜の懇親会では地元の美味しい料理とお酒を堪能し、全国から集まった青年部リーダーや熱意を持った会員と親睦を深めることができました。

2日目の全体研修ではBPCグランプリの発表が行われ、会長研修会は幕を下ろしました。

会長研修会は普段お会いすることのない全国の青年部リーダーや熱意を持った会員と一緒に研修を行い、懇親を深めることができた実りのある2日間でした。



12月度家族例会

会員ご家族が、お互いに感謝の気持ちを伝える家族例会の場として、12月11日（日）、福井市少年自然の家において12月度家族例会「福井YEG家族大感謝祭」いつも温かく見守ってくれるあなたのおかげです」を開催致しました。

第一部では、二つの企画を準備。

一つはビストロYEG。YEG会員が日頃仕事やYEG活動を支えてくれている奥様やお子さんのために料理に挑戦。会員全員がエプロン姿という若干気持ち悪い感じでしたが、サーモンのホイル包み焼きやシュラスコなど本格的なメニューに取組み、悪戦苦闘しながらもご家族のために真剣に取り組んでいました。

もう一つはクラフトYEG。ここではご家族のみなさんが、ご主人やお父さんのためにハンドクラフトに挑戦。奥様方はYEGロゴ入りオリジナルマネークリップづくりを奥様同士で夫の愚痴で盛り上がりながら（？）、お子様はネイチャースプーンづくりを一生懸命木の枝を削ってパパのために（自分のため？）に作りました。

そして第二部の大感謝祭。会員が一生懸命つくった豪華料理をみんなで囲みながら家族でYEGクロswードに挑戦し、ヒントを元にYEGワードを組解いていく。そしてその答えは・・・「いつもありがとう」

その言葉と共に大感謝祭の最後は、ご家族からは会員に対しマネークリップ・ネイチャースプーンを、会員からはサプライズの花束と手紙をプレゼント。ちよっぴりうるつとくるとてもハートウォーミングな家族例会となりました。（涙）

追伸 独身会員のみなさん、ご協力ありがとうございました。



12月定期総会

平成28年12月21日（水）19時から福井商工会議所ビル地下国際ホールにて、平成28年度12月定期総会を開催しました。

いずれの議案も慎重な審議のもと無事に可決されました。次年度会長として可決された北出慎吾君から、次年度基本方針の説明がされ、スローガン「剛毅果断（こうきかだん）」と「熱い想いと覚悟を示した行動力（こうきかだん）」と「意志がしっかりといて思い切った事を行うさま。また、決断力に富んでいるさま。」をいいます。

次年度福井YEGの方向性が明らかとなり、また、次年度会長の決意が示され、次年度福井YEGの活動に大きな期待を持てる時間となりました。



年初め祈禱会

平成29年1月18日、年初め祈禱会を、毛谷黒龍神社にて開催しました。当日は、平成28年度、平成29年度の役員に加えて福井YEGメンバー約50名が参加し、厄払い等を行いました。

今回の祈願により当会の結束と連帯感がますます育まれ、1年間会員一丸となつて福井YEGを盛り上げていくという意識を持つことができたと思います。この後に開催された平成28年度1月役員会も活発な議論され、今年も良い事業を構築したいとするYEGメンバーの意気込みが表れていました。



1月キャリア教育事業 転職に出会う1DAYミーティング

平成29年1月21日(土)福井商工会議所地下コンベンションホールにて、「天職に出会う1DAYミーティング」が開催されました。福井YEGのキャリア教育事業としては初めて県内の大学生と一緒に学ぶ事業でした。

今回のキャリア教育事業は福井YEGの先輩でもある中村まゆみ様を講師としてお招きし、講演と座談会の二部構成での開催となりました。

第一部では「天職」をテーマに自己理解を学びました。チェックリストを用いながら



自分の考え方などのタイプを確認することができました。第二部では天職をキーワードとして仕事について大学生と語り合うことができました。福井YEGメンバーを創業者と後継者でテーブルを分けて座談会を行いましたので、大学生にも仕事について様々な視点があることに気づいていただけたと思います。

事業開催にあたっては学生への案内方法、開催時期など反省することはありますが、各大学と接点を持つことができ、実りの多い事業でした。

これからも続く大学生とのキャリア教育事業の第一歩を踏み出したことが、今回の成果だったと実感しています。



1月度例会 「まちこたつ会議・ふくい4989」

ふくい・49のまちを知り、まちリンクの花を咲かせよう

参加者全員が「ふくいの魅力」を知り「ふくいの未来像」を共有し、福井市内49地区・福井YEG・行政・教育機関などそれぞれの立場でお互いの活動にリンクし、これからの活動にヒントを得て新たな気付きを生み出すことを目的として開催しました。

立場は違えどフラットな語り場にしたと考え、こたつ会議、スタイルで気軽に意見交換が出来るよう

な設えを企画しました。

大きい小さいに関わらず、参加者全員がそれぞれの環境で出来得ることがあると気付くことが何より大事なことでと思います。

各地域団体の方々に加えて多くの学生さんにも参加して頂き、様々な立場での活発な意見や発見が交わって、私達YEGメンバーにとっても、リンクの花を咲かせ実を結ぶことへの一歩を踏み出す例会となったのではないかと思います。



ふくいの会社チカラ取材班 黒龍酒造株式会社編

雪のちらつく2月2日。青年部取材班は、福井県立大学松岡キャンパスそばにある「黒龍酒造様」の兼定島酒造りの里を訪問しました。経営企画部の数下部長と黒田様にご対応いただき、福井を代表するブランドの背景にある様々な取り組みについて取材しました。黒龍酒造様は、今年度のわがビジネスストライ委員会のスローガンである「自社成長へのあくなき挑戦」をまさに実践しているという事で、どうしたら日本酒をもっと若者に飲んでもらえるか、こんな商品があるけどどうか?など、ただ話を聞くだけではなく、お酒の飲み比べや、器を変えることで飲み口が変わるなど、近い距離で、少人数でディスカッションすることで、日本酒文化を広めるにはどうしたらいいか、実際の商品に触れながら商品価値を確かめてもらいたいなど、

活動報告

お酒自体の品質にかけ
る想いはもちろん、そ
れをどう楽しんでもら
うか、器や飲み方も含
めて、お客様の視点か
らお酒を飲む体験を、
より良くする取り組み
や、そしてその背景に
ある理念など、多くの
事を学ばせていただき
ました。



第33回会員大会小浜大会

平成29年2月4日（土）、福井県商工会議所青年部
連合会 第33回会員大会 小浜大会『楽・笑・道〜未来へ
繋ぐYEG魂〜』に参加しました。福井YEGからは33
名が参加。

10時に福井駅に集合し、12時には小浜商工会議所に
到着しました。バスの中では、メンバーが今年の福井
YEGスローガンである「挑戦」にもとづき、各自の
挑戦したことについて、お話しをもらいました。

13時50分より小浜まちの駅旭座にて大会式典が始ま
りました。開会宣言のあと、県連会長である高木君の
挨拶もありました。来賓の方のご挨拶の後、県連7単
会から未来ビジョン委員会の報告もあり、各単会が
行ってきたキャリア教育やまちづくり事業を学びまし
た。

式典後は、3つの分科会に分かれました。第1分科
会は『成果を上げ続けるための強いチーム作りとメン
タルヘルス』体験セミナー、第2分科会は『先輩塾
地域おこしをビジネスに』、第3分科会は『若狭小

浜の伝統を体験〜地域自慢研修〜でした。私が参加
した第3分科会は、箸研ぎの体験や丁稚羊羹づくりで
した。体験を通じて小浜の伝統を感じました。
分科会後、大懇親会に移ります。大懇親会では各
テーブルでメンバー同士名刺交換からはじまり、他単
会との交流を図りました。また大懇親会の最後では次
年度の県連役員の発表もあり、次年度県連大会の発表
もあり、次年度に向けての動きも見られました。
平成28年度県連スローガンは、「結束 〜人を繋ぎ、
地域を繋ぎ、未来へ繋ぐ〜」でしたが、会員大会
のリーフレットに7単会
全て500名メンバーの
顔写真が掲載され、人が
つながりやすいツールが
用意されていたり、式典
中の未来ビジョン委員会
の発表を通して、地域が
繋がり、県連YEGの未
来へと繋がる式典だっ
たと感じました。



ふくいの会社千カラ取材班 有限会社幸伸食品編

厳しい寒さから一転、春のような温かさの2月16
日。永平寺にある幸伸食品様本社を訪れました。幸伸
食品様といえばごま豆腐が有名ですが、直営レストラ
ンである「幸家」も経営されています。当日は、久保
社長自らご対応いただき、発信力やこれからの取り組
みなどのさまざまなことを取材することが出来まし
た。久保社長からのお話は、ライフスタイルの変化や
インターネットによる消費者との関係の変化や、少子
高齢化という社会構成の変化などの「変化」に常に気

を使って、常に「危機感」をもって臨まなければならないなど、経営者として何が大事かを考えさせられるものでした。本年度の青年部スローガンである「Just Do It YEG」あくなき挑戦」を体現する取材ができたのではないかと思います。今回の取材班は、2社とも食品関係の会社でしたが、同じ商品開発やブランド戦略でも、取引先やお客様の声から気づきを得て作り上げる黒龍酒造様と、逆にお客様が気づいていないものを自分たちで見つけて提案する幸伸食品様と、対照的な取り組みになっていたのが印象的な取材になりました。



2月度例会

2月22日（水）福井商工会議所地下国際ホールにて2月度例会「自社成長へのあくなき挑戦6」情報発信編」を開催しました。この例会は、当委員会最後の担当例会という事で、インターネットを利用した情報発信をもっと活用していただき、さらに自社のビジネスを発展してもらいたいという思いで、委員会メンバーが講師となり開催しました。まずは、現在のインターネットをめぐる状況や情報発信の方法などについて分かりやすく解説していただき、情報発信においても重要なキーワードは「信頼」であるという事。また、実際のYEG会員の活用事例の紹介などもあり、具体的なイメージもつかめたのではないかと思います。

います。次に、SNSでの情報発信は文章よりもまず写真やイラストに目が行きます。そこで、どうすれば魅力的な写真を撮ることができるか、実際の撮影を通じて、楽しく魅力的な写真を撮影するためのポイントをレクチャーしました。最後に、青年経済人として恥ずかしいくない情報発信のやり方や著作権や肖像権について配慮していない情報発信は、個人や会社の信頼を落としかねないものになるなどの注意点を学びました。1年間学んでいた中で、多少でも使えると思ったことについては、ぜひとも実際のビジネスで活用し、自社成長に繋がっていただけると幸いです。



第36回全国大会 北海道いわみざわ大会

平成29年2月24日（金）から26日（日）までの3日間、日本商工会議所青年部第36回全国大会「北海道いわみざわ大会」に参加しました。福井YEGからは、OB会員を含め21名が登録し、厳寒の北海道に赴きました。

24日（金）は、小松空港から新千歳空港におりたち、岩見沢入りしました。17時30分から大懇親会が始まり、その後は記念事業として卒業予定者に対するセレモニーが執り行われました。福井YEGからは岡山君、鈴木君が参加頂き、メンバーから熱い祝福を受けておりました。

25日（土）は、宿泊地である札幌から岩見沢に向かい、大会式典に参加しました。日本YEGの岡村会長の主催者挨拶に引き込まれ、私の隣に座っていた岡村会長の所属単会である京都YEGの皆さんが、皆涙しいことが大変印象深かったです。

式典終了後は各自行動となり、冬の北海道を楽しみました。17時からは札幌駅前の「松尾ジンギスカン札幌駅前店」にてジンギスカンを楽しみ、その後は各々すすきのを楽しんだことでしょう。中には飲みすぎた方もいたようです。

26日（日）は、午後から新千歳に移動し、小松に戻ってきました。全員欠けることなく無事福井に帰ることができ、担当委員として安堵しました。



アントレ・キッズ2016

①アントレ・キッズin鷹栖小学校&長橋小学校合同開催
平成28年10月25日（火）に鷹栖小学校にて長橋小学校の生徒と合同でアントレ・キッズが開催されました。鷹栖小学校から『他地域の方々をお招きしたい』とのことで、YEG企業3社に参加してもらいました。初めて参加される講師の方もおられ、講師をする前は、

『子供たちが興味を持ってもらえるのか』と不安がられていましたが、やってみると『子供たちががっつり食いついてくれてやってよかった』と言っていただけでした。鷹栖小学校からも、『アントレ・キッズをやって子供たちが自身の将来を考える良いきっかけになった。』と言っていただけでした。

②アントレ・キッズin日新小学校

平成28年11月2日(水)に日新小学校にてアントレ・キッズが開催されました。YEG企業6社と在校生の保護者の方2名に参加していただきました。2限目と3限目を使い、それぞれ生徒を入れ替えて、同じ講義を2回行いました。やはり身近にいる友達の親が講師をされると子供たちも気になったようで、自身の将来像をイメージするのに、良かったようです。

③アントレ・キッズin酒生小学校

平成28年11月5日(土)に酒生小学校にてアントレ・キッズが開催されました。YEG企業4社と地元企業2社に参加していただきました。4年生は2グループに分かれて地元企業2社の授業をそれぞれ交互に受けました。5・6年生は4グループに分かれて、YEG企業4社の内1社の授業を受けた後、別々のグループの者同士でグループを作り、自分が受けた授業はどんな内容の授業で、どんなことを学んだのか、授業を受けて考えたことなどを互いに発表し合うグループシェアリングをしました。子供たちは真剣に授業を聞いており、講師の先生方が楽しく授業をされていたので、とても身になったようでした。

④アントレ・キッズin麻生津小学校

平成28年12月2日(金)に麻生津小学校にてアントレ・キッズが開催されました。初めての講師をされる方々が集まったアントレ・キッズでした。皆さん、やはり相応に緊張されており、子供たちの前で上手く話ができるのか、子供たちにきちんと言いたいことが伝わるのかなど、色々と不安もあったと思いますが、授

業後には皆さん笑顔が見られました。しかし、その笑顔の中にも『十分に伝えきれなかった』ことの悔しさや『時間が足りなかった』ことの残念さなど、様々な思いが隠れており、普段の仕事では得難い経験が出来ていたものと思います。

⑤アントレ・キッズin旭小学校

平成29年2月10日(金)に旭小学校にてアントレ・キッズが開催されました。授業1時間、感想会20分の変則授業で行ったアントレ・キッズでした。子供たちは、普段45分授業に慣れているため集中力が続く限界であったようですが、講師の先生方がとても楽しく授業をしてくださったおかげで、子供たちはとても楽しそうに授業を受けており、将来の夢や仕事について思いを巡らせる良いきっかけになったことと思います。



シンガポール海外研修報告

平成28年11月10日(木)から13日(日)にかけて、シンガポール海外研修旅行に行ってきました。福井YEG及びOBである「あじさい会」のメンバーを含め、総勢18名が参加し、小松空港から羽田空港を経由してシンガポールはチャンギ空港に降り立ちました。

シンガポール1日目は、まず WAR MEMORIAL PARKに赴き、日本によるシンガポール植民地時代の犠牲者の追悼を行うとともに、両国の歴史的な背景について研修を行いました。

その後は、お決まりの観光地マリーナ・オン・パークで思いの写真を撮影した後、午後からはシンガポールの国家開発を担うURA(都市開発庁)、及びシンガポールの治水や淡水化を行うマリーナ・バラージにて研修を行いました。シンガポールの狭い土地をどう活かすか、シンガポールの最大の弱点である「水」をどう管理し、どう自足するか、国家レベルの政策を垣間見ることができました。

その後、シンガポール一日目の夜は、シンガポール福井県人社の方々と交流しました。懇親会は、福井出身の方がシンガポールで出店した焼き鳥屋「馬」で行われ、同郷同士、大変盛り上がりました。

また、ここで、シンガポールの研修から福井県人社の方々との交流に至るまで、全て調整等頂いた共同コンピュータ会長の吉村様に厚く御礼申し上げます。

シンガポール二日目は、午前中に観光した後、午後からは自由行動となり、皆さん思い思いの時間を過ごされていました。私自身、今回のシンガポール研修旅行は、新しい発見や知識の吸収、そしてシンガポールという国を知ることができ、本当に有意義なものであったと思います。

また、今回のシンガポール研修旅行に当たっては、旅行前に講師(オービット外語学院 Mark Nessler 様)を招いて英会話講座を開きました。この講座のおかげか、シンガポールでは英語でのコミュニケーションをはかろうとするメンバーが多く、さらに国際人としての教養が高まったように思います。メンバーの皆様の英語力向上に一役買ったなら幸いです。



朝食は現地のホーカーセンター(マックスウェル)にて。ここでおすすめの「チキンライス」を注文するなど、ローカルフードを味わいました。



定番のマリーナ・オン・パークにて。最初にメンバー全員で記念撮影。その後、各自思い思いの写真を撮りました。



到着後、まず War Memorial Park へ。日本による植民地時代の犠牲者に対して1分間の黙祷を行い、両国の歴史的な背景を学びました。



マリーナ・バラージは貯水や治水だけでなく、雨水などの淡水を最先端の膜技術で飲料水にしています。世界トップクラスの技術を見学しました。



エリートが主導して作ったシンガポール国家。ジオラマを通じてシンガポールの島全体を俯瞰しながら、その国家開発戦略の概要を勉強しました。



海外研修に先立ち、英会話講師を招き、英会話レッスンを行いました。皆さん、英会話に果敢に挑戦されました！ Good Job!!



シンガポール福井県人社との交流
福井県人社14名、YEG17名の31名が参加し、遠い異国の地で、福井のお店を通じ、熱く交流をかわしました。YEGメンバーのお土産も大好評！



ジュロンヒルズの展望台
ここではかつて、外国のトップを招き、この展望台から工業地帯を眺め、空いている土地へ外国企業を誘致していたとか…ロマンが広がります！

※今回の研修にあたり、福井出身で現地在住の吉村一男様(共同コンピュータ会長)に大変お世話になりました。

卒業生の言葉

卒業生の言葉



岡山宇太郎

この度、福井商工会議所青年部を無事卒業できたこと深く感謝申し上げます。平成11年(当時28歳)に入会し早18年(現在46歳)が経

ちました。入会した当時は、やっとインターネットという言葉が普及し携帯電話を持つ人が多くなってきた頃でした。

入会動機は異業種交流でしたので商工会議所の回りをウロウロして、どこで入会をしたいのか分かりませんでした。ホームページも勧誘チラシも無く会員増強活動もしていなかったのも無理はないですね(笑)。そこでインターネットで検索したらお客様の名前が出てきたので早速電話し福井YEGについて詳細を聞き、入会した記憶があります。

入会して1年目はYOSAKOIイッチョライ黎明期。いきなり福井コンピュータ体育館で踊り練習すること、なぜ踊るのか分からず入会動機と違う感じを抱きました(笑)。2年目にはイッチョライ委員会に配属になりいつ終わるか分からない委員会が連夜開催されました。そもそもYOSAKOIイッチョライにあまり興味が無かったので委員会が辛く、あまりの終了時間の遅さにカバンだけ置いて帰宅したこともありました(笑)。

などなど500文字程度では書ききれない思い出がたくさんあります。ホントにYEGを通していろんな経験をさせていただき、この18年間で日本全国のいろんな方々と交流させていただき、福井YEGの諸先輩、現役メンバー、全国YEGメンバー、事務局様に感謝です。

ありがとうございます！！！！！！



島田 茂和

私は平成21年、YEGとして創立35周年の節目の年に入会しました。異業種の方と少しでも交流出来ればいいかな程度の気持ちで入会したのですが、入ってみるといきなり35周年事業担当委員会に配属され、何が何かわからず大変でしたが、そこでYEGの楽しさが分かったような気がします。そしてその35周年事業での茶谷幸治さんの講演「郷土の誇りを活かしたまちづくり」に感銘を受け、次年度行われた第1回のまちあるきで、まち歩き事業の楽しさに気付いたのが、今までずっとやってこれた原点だと思っています。

それまでは、福井には何も無い。面白い所なんてないもないよ。と私自身も思っていたのですが、まち歩き事業を通して普段知り合うことの無い人達と知り合い、福井にも歴史のある店・場所・面白い人・美味しい物など地域の宝がいっぱいあるけど知らないだけなんだと気付き、いろいろな街中を歩くのが楽しみになりました。YEGを卒業してからも、こうした事業に少しでも関わられたらと思います。

YEGの皆さんには色々な事を教えて頂き、気付かせていただき、本当にお世話になりました。今後のYEGの発展と皆様のご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございます。



鈴木 和男

平成15年にこの福井商工会議所青年部に入会させていただきました。YEG活動の中で特に感じた事は人との繋がりがやが縁ができ、先輩たちや仲間たちの仕事に対する考え方や取り組み方を多く学ぶことができた事です。自分自身の成長に多く役立つ、僕の大事なかけがえのない財産となりました。本当にありがとうございます。YEG活動の中で一番の思い出は、平成18年に日本商工会議所で開催された日本商工会議所、全国商工会議所青年部連合会主催によるYEG第二創業支援プロジェクトで最優秀グラ

ンプリを受賞した事です。一般的には分かりづらい、弊社の主要事業である水源井戸の洗浄再生技術をどう事業計画していくか、どう市場開拓を狙っていくのか、プランを発表させていただきました。発表本番2日前より神奈川県の方でプラン作成合宿を参加者全員で行い、涙が出るくらい辛く、難しく、途中辞退も頭によぎりながら、何とか耐え抜いた合宿だったことを今でも鮮明に覚えていいます。今ではその経験がとても良い思い出となり、今日の弊社の主要事業に活かされています。本当に参加して良かった！と心から感謝しております。14年間に在籍させていただきありがとうございます！福井YEGの更なるご発展と会員皆様方のご健勝と事業のご繁栄を心より願っております。



林 雅紀

時の経つのは早いもので、もう卒業、となつてしまいました。ここ最近では諸事情もあり、YEGの活動にあまり参加できておりませんでしたが、非常に悔やまれるところでもあります。

私が最初に参加させて頂いた活動は駅前アントレキッズでした。小学生に向けてマナー講師をさせて頂きましたが、日々の業務では得られないような多くの体験をさせて頂きましたことを、有り難く思っております。YEGとの仲間との共同作業を通じてイベントを成功させることが出来たときの充実感は、今でも忘れることはありません。

また、私が大好きなゴルフを始めたのも、YEGの仲間との繋がりがそのきっかけでありました。目を閉じればそのときの様々な思い出が浮かび上がり、目頭が温かくなってくるのがわかります。

私の人生にとって、たくさん宝物をくださったYEGに心から感謝を申し上げ、これから未来のYEGと、ふるさとの発展を、ともに支えて頂ける後輩の皆様方のご健勝を心からお祈り致します。ありがとうございます。

卒業生の言葉／平成28年度委員長コメント



東田 睦

平成25年に入会させていただき、3年の短い間で、たくさんの方とお会いし、事業を通していろいろな経験させていただきました。

充実した時間を送る事が出来ました。最初の『まちあるき』では、足羽地区のリーダーをしてくださいと突然言われ、何がわからぬまま、まち歩きをしたこと憶えています。不安とプレッシャーを感じながらのまち歩きでしたが、参加者及び委員会メンバーの支えにより何とか無事に終えることができました。このまち歩きの体験から今まで知らなかった福井の魅力、場所や歴史など、地域の方々に教えて頂き、福井の良さを再認識出来たと思います。この体験がきっかけでもっと他の地域での魅力を知りたいと思い、まち系の委員会ですとやっていくと思ったのを憶えています。

また、春祭り事業では二度と経験できないお濠の中のイベントは一生の思い出になるでしょう。新しい事業として、まちキッズ福井のイベントでは準備期間が少ない中、メンバー及び父兄、公民館の館長、店舗の方の協力のもと成功を収めることができました。このYEG活動を通して感じたことは、どの事業にしても諦めず、やり遂げる事。メンバーの結束力が凄く強いこと。そして何より福井を愛していることを感じました。

これから福井の発展の為に、もっと魅力を発信できるように様々な活動に協力していきたいと思えます。



平成28年度委員長コメント

総務・渉外委員会



委員長
清水 孝行

平成28年度総務・渉外委員会の委員長を務めさせて頂きました清水孝行です。福井YEGのメンバーとなり4年目に於いて総務・渉外委員会委員長を拝命し、不慣れな点が多々ありながら1年間走ってまいりました。

平成27年12月にコスモ開発店にて最初の委員会を開催してから、手帳作成、ホームページ更新、名札作成、総会・例会の開催、代議員総会の開催など、内容も十分に分からないまま怒涛のように議案が押し寄せ、てんてこまいになったことがつい先日の様です。毎年同様のものが多い総務渉外委員会の事業で「革新的な挑戦」を実施することは、なかなか困難ではありますが、円滑に事業を行うことと昨年度の事業より「少しの挑戦」をしてみる、ということ委員会内で心がけてきました。大会の移動中に交流が図れる時間を設けたり、名札が落ちにくい様に厚紙を挟んだり、ホームページとフェイスブックをリンクさせてみたり、具体的に挙げればキリがありませんが、少しでも福井YEGが良い方向に向かう様に思考していた1年だったと思います。

個人的に平成28年度総務渉外委員会の事業で心に残っているものは、近畿ブロック大会での吹田YEGさんとの交流及び海外研修の実施です。吹田YEGの方々には、わざわざ福井にまで来て頂き、近畿ブロック大会当日も深く交流することができました。また、海外研修では目標人数である25名には達しなかったものの、シンガポールで多くのことを吸収でき、メンバーの色々な側面を見ることができました。なお、シンガポール研修については、本紙にある「シンガポール特集記事」をご参照ください。また行きたくなること間違い無しです。

当初掲げた目標が十分に達成できていない点、ホームページの管理等が十分で無かった点など、反省すべきことは多々ありますが、「委員会を2時間以内に終える。」という目標が達成できたのも、副委員長を始めフロアメンバーの方々が、仕事やプライベートの時間を押して議案を練ってくれたおかげ

げです。未熟な委員長でしたが、総務渉外委員会の委員長を全うでき、密かな充実感を感じております。福井YEGの色々な仕組み、メンバーの人物、などなど、たくさんの方が見えた一年でした。最後に、平成28年度総務渉外委員会の皆様、色々と支えて頂き本当にありがとうございました。

次世代成長委員会



委員長
坂口 雄介

平成28年度次世代成長委員会の委員長を務めさせて頂きました坂口雄介です。約1年前、初めて拝命した委員長職が新入会員の委員会という事で、どのように運営していこうか悩んでいたのを懐かしく思い出します。

「ENJOY YEG!」YEG活動を通じて新たな仲間を構築してほしい、そして1人ではできない地域貢献をYEGのみんなで行うことができる素晴らしさを体験してほしい・・・そんな願いを込めてこの委員会スローガンを掲げ、様々な事業へ挑戦する一年が始まりました。

8月には、福井YEGの代名詞的事業の一つである「えきまえアントレ・キッズ」への参画です。入会間もないメンバーが、運営スタッフのみならず講師としても挑戦。事前に委員会において、「もっとこうしたらどうか」「こんなことを取り入れたら子供たちに分かりやすく伝えられるんじゃないか」などなど、盛り上がりつつあることを思い出します。

9月には、「9月度会員交流オープン例会 誰かに言わずにいられない! Enjoy ゆるスポオリンピック」を実施。初めての担当事業ということで、とまどいと重圧の中での体験でしたが、企画から当日の運営まで度々なく打合せを重ね、参加者の方より楽しく交流ができたとの声を多数いただくことができ、メンバー全員が気持ちいい達成感を味わうこととなった素晴らしい経験の機会でした。

12月の「12月例会 福井YEG家族大感謝祭」いつも温かく見守ってくれるあなたのおかげです。では、メンバーから様々なアイデアがどんどん生まれ、それを実現するために知恵を絞って挑戦していくメンバーの姿がとても印象的でした。一年を振り返ると、新入会員の一人一人が、担当例会事業のみならず、福井YEGのその他の事業や県連・近畿ブロック・日本YEGなどの各種大会などへの参加も含め、体験を重ねるたびに成長していく姿は、先輩として本当に頼もしい

平成28年度委員長コメント

ビジネスストライ委員会



委員長
達川 竜司

ばかりでした。
この経験を活かし、次年度は当委員会からたくさんの方の副委員長を輩出します。福井YEGの新たな歴史はきっと坂口チルドレン(笑)がしっかりと刻んでくれるはず。新たな次代の先導者にみなさんご期待ください。
最後になりますが、当委員会の全てのメンバー、支えてくれた4名の副委員長、チャンスを与えて下さった北出副会長、新入会員を暖かく見守ってくれた福井YEGのみなさん、本当にありがとうございます。私にとつてこの一年の経験は一生の誇りです。

初の委員長、そしてビジネス系の委員長という事で改めて、想いを形にすることの大変さと、伝える事の難しさと実感し充実した1年でした。
「年6回の例会」と昨年度立ち上げた「ふくいの会社デカカラ取材班」を2本の柱に、どうすれば多業種が集まる青年部でできるだけのメンバーが、「参加してよかった、自社の成長に役立てることができた」と言ってもらえる例会や事業にできないかと試行錯誤してきました。

最終的に決まった例会のテーマ「自社成長へのあくなき挑戦」は、会長の基本方針にある一人ひとりが何かに挑戦をして、「未来への成長の種を育てていってほしい」という想いで考えました。

最初のうちは、その想いがうまく委員会メンバーに伝わらずぶつかることもあり、自分が1年間委員長としてやっていくのか不安でしたが、4人の副委員長のフォローもあり、委員会メンバーと話をすることで理解してもらえて、やりきる事が出来たのではないかと思います。

特に、ただ講師を呼んで、話を聞くだけの例会にはしたくないという想いで、自社でこれからやろうとしている事、やりたいと思う事業を実現するためのセミナーをしたり、新しい事業をするために必要なコストなどをいかに有効に使用するかを考える、ガッツリ勉強する例会ができたのではないかと思います。

今年1年のビジネス例会を通して、会員メンバーの自社成長への種が芽吹き、大きな花が咲くことを楽しみにしています。

人財育成委員会



委員長
藤田 清彦

2016年 3つの目標は、会員増強と年間の挑戦目標である会員の例会出席率に關してはがなかなか思うようにいかずに難しい部分がありましたが、会員の結束については、会員の仕事をすることで会員の結束が強まることにはつながったのではないかと思います。
結びに、副会長、副委員長をはじめとする委員会メンバーと、組織として動くことの難しさ、仲間と事業を成し遂げていく事の面白さとありがたみを感じる事の出来る1年でした。こういう機会をいただけた事に、協力いただいた青年部メンバーとご講演いただいた講師の方々に、心より感謝いたします。ありがとうございます。

平成28年度人財育成委員会の委員長を務めさせて頂きました、藤田清彦です。

当委員会では、このまちに住む子供達の郷土愛を育み、将来の我がまちを背負う人財を育成すると共に、YEGメンバーが、地域を牽引し青年経済人だからこそできるキャリア教育の構築を行っていくことで、自信と誇りを持ち、我々自身も魅力ある人財へと成長することをミッションに、1年間委員会メンバーと挑戦し続けてまいりました。

5月の例会では、新しいキャリア教育事業を構築するうえで、学校・企業・地域（PTA）間で相互理解を深める事が出来ました。

この例会により学校側の理解を得ること及びPTA独自の開催校も増えました。

えきまえアントレ・キッズでは、初のハピリン会場開催という事で地元えきまにキャリア教育の概念がより大きく広がり、学生中心に立ち上げたボランティア団体ネクストYEG『響』により新しいステージへと進化することができました。

新規事業として「まちキッズふくい」を開催しました。子どもたちが主体的にアクションを考えることで、目標に向けて協力する力、失敗を恐れず粘り強く取り組む力、新しい価値を生みだす力を、キャリア教育とまちづくりの視点から、地域人財の育成と地域活性化に貢献出来る事業を構築することができました。

1月のキャリア教育事業では初の大学生を対象にし、仕事

まちひとめぐり委員会



委員長
田中 日奈子

を天職とする、天職で起業することを伝えて、自己理解し、自己実現へ繋げていくという内容でYEGメンバーも楽しみながら学生と話が出来るような情報や気づきを得た機会となりました。
これらすべての事業に対して副委員長が中心となり挑戦し、委員会メンバーに支えられ、私自身も大きく成長させていた1年間となりました。
例会にご参加頂いた皆様、事業開催にあたりご尽力頂きました委員会メンバーの皆様には心から感謝申し上げます、平成29年度委員会の益々の発展と子供たちの明るい未来を祈念いたしまして最後の言葉とさせていただきます。

今年度を振り返って、初めて一つの委員会の長を務めさせて頂いた一年は、本当にあつという間でした。

まちをめぐり・ひとにめぐりあうことで、自身の成長に繋がるような委員会にしたいという思いを持って、各事業に取り組んできたつもりですが、ひとに向き合い巻き込んでいくことは、なかなか難しくなかなか愉快なことなのだと実感する日々でした。

ひとそれぞれに考え方や思いがあり、得意不得意があり、やり方やプロセスがある中でどう形を作り上げていくのか、どんな形を目指すべきなのか、思考錯誤していくことは私自身、本当に多くの学びを得ることが出来たと感じています。

各事業を担当して頂いた4人の副委員長は、四者四様にそれぞれに事業に向き合い、多くのひとを巻き込んで運営まで尽力してくださいました。そのおかげで4つの事業はそれぞれに「挑戦」して、新たな一歩を踏み出すことが出来たのではないかと自負しております。

委員長として至らぬことばかりで、役員メンバーを始めフロアメンバーの皆さんにも、たくさん助けていただいたことで出来たのだと思います。

まちひとめぐり委員会での一年が、次の一年に大きな一歩を踏み出す一年だったならば、と願わずにはいられません。本当に本当にありがとうございます。

平成29年度会長抱負

平成29年度会長

北出 慎 吾



平成29年度スローガン
ごうきかだん

剛毅果断

「熱い想いと覚悟を示した
行動力が未来をつくる」

Y E Gに入会して9年目の今年、会長を拝命致しました。地元である福井に戻り、入会当初まず私が感じたことは、福井の魅力を全然知らない自分がいたことでした。少しずつ地域の方々や諸先輩方が築き上げてきた事業や想いに触れ、また仲間と例会や事業を構築するにつれ、だんだんと福井のことが好きになり、青年経済人として、福井で生まれ育った者として福井の魅力をもっと伝えていきたいと思うようになりました。

そのきっかけとなったのがある先輩からの言葉です。「自分の得意な分野だけ携わっていても駄目だ。せつかくY E Gに入ったのだから、自分の苦手な分野、やったことがない分野に挑戦することで自己成長があるんだ。苦手なことを知ることY E Gだし、それを乗り越えるのもY E Gだ。それが仕事にも生きるんだぞ。」と教えられました。そこからビジネス事業だけでなく、まちづくり事業、キャリア教育事業へと経験を積んでいきました。先輩の暖かい言葉が今でも心の糧になっています。

平成29年度は「剛毅果断」というテーマを掲げました。自らの成長が会社の成長・発展につながり、地域の活性化にもつながります。熱い想い・覚悟・行動・未来に向けた取り組みは、いつの時代も道を切り拓いてきました。我々Y E Gが火種人材となり、福井の活性化に全力を注ぐことは、人として、青年経済人として、大きな自信と信頼を獲得することができます。「Y E Gに入って良かった」「Y E Gの事業・例会って素

晴らしい」と言ってもらえるよう、今年一年、一緒に未来をつくる活動を会員メンバー一丸となり邁進します。

平成29年度委員長抱負

総務・渉外委員会

委員長 小前 田 宙



総務・渉外委員会の仕事は決して目立つ仕事ではありません。しかし、会社で総務や経理の部署が必要のように、総務・渉外委員会は一人一人の会員がY E G活動を円滑に行えるようにバックアップするためには必要な存在なのです。次年度の総務として、会員をよりバックアップするためにどのような活動を行っていくべきかが大きな課題となります。

私が考える次年度の総務・渉外委員会が行うべき活動としては、次年度会長の活動方針にもある「信頼づくり・・・魅力ある仲間づくり、熱く語りたれ！」の実践です。Y E G活動を通じて得ることができる「楽しさ」や「感動」を共有する仲間は、一生の宝となるものです。そして、こうした信頼関係の構築こそが福井Y E Gが更に飛躍するための土台になります。総務・渉外委員会の役割は、役員会や総会の運営、各種大会参加への企画・運営、会員の情報管理・伝達などになります。総務の仕事としては、毎年決まっていることをやるという部分もあります。ただし、やるべきことについてはきちんとやった上で、今年はより会員同士の交流が深まっていくための取組みの提案を総務・渉外委員会から積極的に行っていきたいと思っています。

会員同士の交流を深めていくためにも、やっていくと考えているのは、総務のメンバーにも協力していただいて、各種事業の参加について積極的な声掛けをしていくことです。そして、特にY E G活動になかなか

か参加出来ない会員のために、参加しやすい環境を作っていきたいと思っています。そのためには、まずは自分が積極的に会員と関わっていきます。

私もY E G入会5年目にして、初めての委員長ということもあり、不安な点も多々ありますが、みなさんのご協力をいただきながら、みんなが成長できて、楽しい思い出が残る委員会にしていきたいと思っています。次年度は魅力発信委員会が新設され、従来の総務委員会の事業を分担できることもあり、新しいチャレンジが出来る1年ですので、どしどし積極的に行動していきましょう。1年間どうぞよろしくお願い致します。

魅力発信委員会

委員長 天 野 準 一



現在、福井Y E Gメンバーが感じている会の良さ、外部の人達がもっているイメージにはギャップがあるものと感じています。その理由として我々の活動の「良さ」が伝えきれないということがあります。この

ギャップが新規会員増強の壁にもなっており、また福井Y E Gブランド向上のハードルになっているものと捉えています。

我々は今以上に活動の「良さ」を伝えていかねばなりません。福井Y E Gの良さと何かが。そしてそれを広めるためにはどうすればよいのか。「良さ」を伝えること、それは福井Y E Gの持つブランドを高めていくことにほかありません。綱領・指針のつとり先輩方が行われてきた多くの活動、そして今のメンバーが考え額に汗し行ってきた事業の成果とそこに行き着くまでの過程に散りばめられた想いこそが「良さ」であり、福井Y E Gブランドであると考えます。この会の魅力を内外に大いに発信していきたいと思っています。今回主たる活動が「情報発信」である魅力発信委員会が立ち上がりました。まずは我々委員会が主導し、良き活動、良き成果の情報発信をもよおす「促進剤」の役割を果たしてまいります。福井Y E Gブランドとはメンバー一人一人の中にあります。メンバー全員が今以

平成29年度委員長抱負

上の火種人間となり、日々情報発信していく、そんな会風の土台を築いていきます。

私は委員会活動を通し、一年かけて広範な告知と直接的な情報発信により会の良さを過不足なく伝えてまいります。委員会活動としても情報発信をしますが、同時に各事業の担当委員会からの情報発信を催す活動を行います。広く情報発信をして会を認知してもらい、その上で既存メンバーの「人のつながり」をお借りし、入会を考えている皆様に直接福井YEGの魅力伝えたいと思います。

YEGは「自社の発展を通じた地域貢献」を活動の柱としております。自身の資質の向上を図り、人との繋りを築き、自社の利益増進を行う。自社の経済活動が今以上に活発になることが地域に新たな雇用を生み、地域の経済を潤していきます。ぜひ福井YEGを自身の資質を磨く場にご活用ください。そして、日本中に広がるYEGメンバーのつながりを利用し、人脈を広げる場としてご活用頂けたらと思います。

飛躍成長委員会

委員長 達川 竜司



新しく福井YEGに入会する会員の初めて所属する委員会として、どのような活動をしている団体なのかを理解してもらい、青年部事業に積極的に参加してもらい、活動を楽しんでもらう。さらには、新入会委員が考える自己研鑽例会や家族例会の企画開催により、事業構築の難しさを学んでもらうことで、モチベーションの向上を図ってもらいたい。

そこで、29年度のスローガン「剛毅果断」。それを受けて、委員会のテーマを「Change My Mind!意識改革」とし、YEGの事をまだ分からない会員に、まずはYEGを楽しみ、YEGを学び、YEGの大変さを知る事によって生まれてくる考えや、意見を活発に交換でき信頼できる仲間作りのきっかけができ、新入会員だからこそうえられるような斬新な発想で、「アントレ・キッズ」や「まち歩き」に続く新

しい事業を構築できるような会員になってもらいたい。数年後に「あの事業は、私たちメンバーが考え、構築していった事業なんだ」と言えるようなものが出来れば、青年部活動のモチベーションUP、意識改革にもつながり、将来のYEGを引っ張っていく事の出来る火種人材を育て、さらには福井を支える青年経済人としての意識改革にもつながる、そんな委員会にしていきたいと思っています。

新入会員の委員会ということで非常に大事な役割を頂いたと、プレッシャーを感じていますが、一人ひとりのメンバーと話をし、福井YEGで活動したい、楽しいと思ってもらえるよう、自分でもわからないところは各委員会や先輩方にも協力いただき、役員メンバー自らが積極的に事業や例会に参加し、YEGは楽しくもあり、このYEGという新しい場所でお会いしたい仲間との絆を結び、飛躍成長できる委員会運営を行います。

昨年度から続けて新入会員の委員会に残るメンバーには、昨年度参加できなかった事業に積極的に参加してもらい、新しく入ってくるメンバーと共に、飛躍し成長してもらえる様、他の委員会メンバーとも積極的に交わるように、剛毅果断に頑張らせてもらいますので、協力してください。楽しい1年間にしたいと思いますので、よろしく願います。

Go-getters委員会

委員長 佐藤 宏隆



青年部の皆様はビジネス系委員会の活動に満足してくれているのだろうか。業種、職種も様々な仲間の集まりである青年部。ゆえにメンバーそれぞれが考えるビジネス上の課題も様々。ビジネス系委員会の活動の根幹は「会員の資質向上」ですが、背景の異なるメンバーに、忙しい時間を割いて参加し満足し、また出席したいと思える例会・事業を企画できるかは大きな課題です。

青年部の新たなスローガンは「剛毅果断」。その中で中核となっているコンセプトが「火種人材」です。小さな火種が大きな炎になるように、自ら率先して行

動し、他者を巻き込み、組織全体として高いパフォーマンスを上げていく。そんな人材は火種人材に自らがなり、そして育てること。これが当委員会に与えられたテーマです。我々青年部メンバーの心には、志や夢、野心、大望など様々な形の火が灯っています。しかし火は、何もせずに放置すれば消えてしまいます。誰かが風を送ってやらなければ、火が大きくなることもありません。当委員会が目指すのはメンバーの火をより力強く燃え上がらせること、潜在的な思いを形にする手助けをすることです。メンバー自身の資質向上の機会、さらに自分を高めていきたいと思うモチベーション。これらを1年通じて高いレベルで提供することで、課題である参加者の高い満足度と継続的な出席につなげていきます。

そんな委員会を目指す上で重要なことが、自ら考え、自ら動く。動きながら考えることだと思います。研修で何を扱えば満足度が高いか、どうすれば参加者のモチベーションが上がるか、これらには明確な答えがありません。大事なことは、自身の知識と経験を元に善いと思うことを判断し、間違えていたならそれを正し、旧弊にとらわれず果敢に新しいことに挑戦することです。

Go-getterという言葉には、何でも進んでやる人、自発的に仕事をする人、やり手といった意味があります。何かを待つのではなく自ら積極的にしかけていく。そんな思いから、これを複数形にしたものを委員会名に選びました。今年のビジネス例会はひと味違うね、面白いねと、折に触れて語ってもらえるよう1年間走り抜けていきたいと思っています。ご期待下さい。

シン・キャリア教育委員会

委員長 近藤 友則



キャリア教育への意識が高まりをみせる昨今、学校・地域・企業との連携による様々な取り組みよりキャリア教育の裾野が広がりをみせています。しかしながら、就職・就業をめぐる環境変化による雇用のミスマッチや、早期離職率の高さを鑑みると若者自身の資質

の未成熟等の課題が見えてきます。福井においては、依然として優秀な人材の県外流出により深刻な人材不足が

叫ばれています。

キャリア教育は、子ども・若者一人ひとりのキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な能力や態度を育てることを目指し、自分が自分らしく「学び続けたい」「働き続けたい」と強く願い、それを実現させていくことが基本理念です。このキャリア教育の原点に立ち返り、今一度学校・地域・企業が一体となった取り組みを推進していかなければなりません。「幼少期から自分の住む街の魅力を知り、地域コミュニティへの帰属により、地域を愛する子ども達の増加」「自分の仕事に誇りを持ち、その魅力を発信できる企業の人材の育成」「就職を目前に控えた学生が、働くことの意義を深く理解し、働くことに情熱をもてるような支援」こうした様々なアプローチを私たちが積極的に進めていき、認識している課題の解決を目指します。

私は福井が好きです。福井が好きだからこそ、今の福井は変わらなければならないのではないかと感じています。学校や地域、企業、若者たちが抱える様々な課題を解決する覚悟の下、「企業の人材不足」や「雇用のミスマッチ」「子ども達の地域愛の醸成」「若者のキャリア発達」に私は一石を投じたいと思います。私たちの取り組みにより、今年度、福井のキャリア教育環境は大きく変わります。

今年度我々委員会ではこれまでのキャリア教育事業を『進』化させ、革『新』的な就職支援事業を行っていき、これまで以上に私たち企業人がやるべきキャリア教育の認識を『深』化させていきます。1年を通してシン・キャリア教育委員会が『神』ついていると言われるよう、邁進する所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

福井元氣が出る委員会

委員長 福田 智 司



福井はPR下手といわれます。また、福井には何もないと自分で発言します。福井は本当に魅力がないのでしょうか。その前に私たちは福井のことをどれだけ知っているでしょうか。その福井で地域交流やまちづくりに積極的

に関わっている人たちがいることを知っているでしょうか。各地域の特産品、工芸品、祭りなどにストーリーがあることを知っているでしょうか。このような知らないことが多い、そこが問題なのです。

平成28年度は「49王国」「まちキッズふくい」がスタートし、それぞれの地域に触れ、知ることを始めました。大切なことはまず私たち自身が地域の宝、地域の人を知ることです。まちづくりや地域の特産品、伝統工芸などの発信に取り組む火種人材がいいます。そのような熱い思いのある火種人材と接点を持ち、その熱を伝播させることが福井のことを知る第一歩になり福井を好きになる人口となります。そのためにYEG事業に各地域の人を巻き込み、多くの関係者を巻き込み、多くの来場者を巻き込む必要があると考えます。事業を構築するときにSNSを意識し、魅力的な福井を発信するコンテンツを事業に取り入れていきます。そこで今年度は私たち福井YEGメンバーが今まで知らなかった福井を知り福井のことを好きになり、さらに福井の魅力を発信する火種人材になることを目指します。

これまで福井YEGが積み上げてきた経験を活かしつつ、福井のみなさまの目に留まるような事業を構築していきます。地域の方たちと協働する、地域と地域を繋げる、地域の魅力を発信する、私たちはそのチカラがあり、今こそ発揮すべきです。そのために何ができるかを考え、私が先頭に立ちまずは動く。地域活動、行政そして福井YEGの在り方、かわり方を確立させるべく邁進する覚悟です。

福井元氣が出る委員会メンバーはもちろん、福井YEG会員それぞれが地域のまちづくりなどの取り組みに参加することも大事です。福井の魅力を発信するために、地域に入り込んでいく。そして、青年経済団体である福井YEGが取り組む意味を考えながら、福井の魅力を伝える、福井を愛する事業と一緒に構築していく。みんなで事業を構築、参加することで、これからずっと続く仲間づくりがYEG活動の目的のひとつでもあります。



平成29年度 福井商工会議所青年部 組織図



本組織図は平成29年4月の定期総会に提出予定の議案であり、編集時（平成29年3月）では正式決定されたものではありません。



福井商工会議所青年部会員企業一覧

2017 年 3 月 1 日現在 / 109 企業

衣類・繊維・装飾品

(株)E-GANG
(株)ウエマツ
(株)パリ
山田商店

印刷・出版

(有)いとう印刷
(株)竹下印刷所

飲食・食品

(株)米五
蕎麦Dining 一福
大吉餅
中華四川料理もりた
(株)天たつ
Bau lu touch
焼肉家 優
一翠
SAYA
Grande
500BAR taku

金 融

ブルデンシャル生命保険(株)

建材・機械

(株)キャンピオ辻万
(株)ダイナテック
福井宇部生コンクリート(株)
ホクコンマテリアル(株)

建築・設備・工事

(株)石本石材
(株)太田忍工務店
F i - e l d (フィールド)
(株)ショーセイ
(有)東栄ルーフ
VEEma(株)
平成電工(株)
(株)前田美装工業
村上大理石(株)
(株)S.K PLANNING
オーガニックハウジング(株)
積水ハウス(株)
石橋建材(株)

建築・設計

(株)Atelier5
(株)エヌアンドシオウ
(株)松宮設計事務所
(株)サンテン・コーポレーション

広告・放送・催事

(有)紅青社
(有)タカラアート
(株)トゥエルブ
(株)デザインスタジオビネン
ヒヨコヤデザイン
(株)ビジュアルライン
(株)福井新聞P Rセンター
福井テレビジョン放送(株)
福井放送(株)
Media Aphrodite(メディア アフロディーテ)
(株)ライストスタッフ
(有)L a b・L a b
(株)シー・ディー・アイ

自動車・運輸

(有)アサダモーターズ
岡山部品(株)
(株)ホンダクリオ福井
(有)マサシ自工

情報・OA

サンキ(株)
(株)ソニック
(有)詩季

製造・加工

(株)エス・ティ・ケー
(有)勝見金箴製作所
(有)中川鉄工
(株)ナカテック
(株)プロダクト・マイスター
(株)ミテック

保険・相談

(株)アトラス
今井労務経営事務所
行政書士法人 坪川事務所
北出経営労務事務所
税理士法人 合同経営会計事務所

清水法律事務所

林雅紀司法書士 行政書士事務所
弁護士法人ふくい総合法律事務所
三井住友海上火災保険(株)
安田会計事務所
ライフスタイルプラス
AI Support
ソニー生命保険(株)
ジブラルタ生命保険(株)
南和彦税理士事務所
(株)東海日動パートナーズ東海北陸

不動産

(株)林不動産鑑定所
(株)R.E.A ヤマギシ事務所
嶺北殖産(有)
(株)宮永不動産

旅行・旅館

(株)JTB中部 福井支店

卸・小売・サービス

(株)越前かに成前
玩具問屋 大村商店
(株)キシモト商会
(株)キタジマ
(株)クリーニング白洋舎
(株)サイトー電器
酒のタケウチ
(有)土谷
(株)トウカイフタイ
(株)トータルクリーンタカシマ
トライドゥカメラ
福井精米(株)
ラーナニーニヤ
(株)ムラタ
(株)山岸和紙店

その他

カイロオフィスYOU癒佑
川端段ボール(株)
(有)グラヴィ
スタッフマネジメント(有)
(株)ダイエイ
(株)フォーカルトラスト
ミリオン協同組合
(株)山形商店

新入会員紹介

新入会員紹介



株式会社 ダイナテック

小森 康史

平成28年度に入会して様々な職業の方と会って、普段やらないことを経験できました。海外旅行にも行きました。

今年は半年ほど県外で研修を受けているので、YEG活動の参加は難しいですが、また成長して福井に戻ってきますので、今後ともよろしくお願い致します。



有限会社 サイトー電器

齊藤 孝大

平成28年4月に入会させていただき、YEGの活動内容が全く分からない状況で、8月のえきまえアントレ・キッズを担当しました。

自分の仕事を見つめ直し、真剣に向き合う機会をいただきました。

地域社会に貢献し、「国の礎」となれるよう精励してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



株式会社 シー・ディー・アイ

大谷 諭史

昨年7月に入会させていただきました。

YEG活動を通じて、一人でやれる事の限界と仲間と力を合わせることで生まれる無限性をつくづく感じております。

今後も引き続きよろしくお願い致します。



ラーナニーナ

宮田 由紀恵

繊維の街・福井を世界へ発信したく、オールメイドイン福井のパンツを企画販売しています。駅前活性がひいては福井の活性に繋がると思ってお店を始めて3年が過ぎ、自分の新しい可能性を求める中でYEGに出会い、平成28年4月に入会させていただきました。

YEG活動は参加すればするほど楽しく自分自身の成長にも繋がっています。積極的ないろんな事業に参加し、YEGの魅力をも自分の言葉で発信していきたいと思っています。



株式会社 ムラタ

大滝 智己

平成28年5月より福井YEGに入会させていただきました。例会や委員会に参加していくなかで多種多様な方々と交流ができ、入会前とは違った経験を積み上げて頂いております。

自身の研鑽を通じて福井YEG活動また地域社会の発展に貢献できるようになればと考えております。よろしくお願い致します。



株式会社 東海自動車パートナーズ東海北陸

木内 絵美

平成28年6月に入会致しました。

例会や委員会、様々なYEGの事業に参加させていただき、今までにない体験をすることで自分の世界が広がりました。これからも積極的に事業に参加し、YEG活動に関わることで自分のスキルアップに繋がっていきたいと思います。

今後ともよろしくお願い致します。



大吉餅

森 淳一郎

今年度4月の入会以来、YEG活動におきましては大変充実した時間を過ごさせていただいております。

私が考えるYEGの素晴らしいところの一つに、「やってみたい」を「やってみせる（魅せる）」にする集団、ということがあります。想いを行動に移すには、スタートにこそ最もパワーが必要。その最初の一步を、勇気と自信を持って共に踏み出すことができる仲間に出会えました。

次年度は魅力発信委員会の副委員長として、想いを行動に移し、YEGの魅力をどんどん魅せつけていく所存です。



株式会社 松宮設計事務所

松宮 正和

当事務所は、「福井の風土の中で、時の流れや季節の移り変わりが感じられる建物創り」、「建て主の想いや夢を大切に建つ建物創り」の基、住宅・店舗・福祉施設など、あらゆる建築物の設計・監理を行っております。

平成28年7月に入会させて頂いてから、数ヶ月ですが、YEG活動で得た経験や知識、仲間は非常に大きな宝だと感じております。今後もYEGと共に成長できるように努力いたしますので、宜しくお願い致します。



Grande

榎谷 妃香里

平成28年6月に入会させて頂いた榎谷妃香里です。入会して以来、たくさんの方々との出会いに日々感謝しております。まだまだ知らないことだらけで、未熟者ですが、自分自身楽しみながら活動していきたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

新入会員紹介



南和彦税理士事務所

南 誠太郎

昨年、福井商工会議所青年部へ入会させていただきました南誠太郎です。税理士をしています。入会して半年、ほとんど活動には参加できていませんが、会員の皆様が熱心に福井の街づくりのために尽力されている姿には頭が下がる思いです。いち会計人として、地域経済の役に立てるよう懸命に実力を磨いている最中ですので、未永くお付き合いいただければと思います。どうぞよろしくお願い致します。



SOOBAR taku

神田 拓磨

皆様、初めまして新入会員の神田と申します。片町で、SOOBAR takuというお店を営ませていただいています。

YEGに入会を決めた理由としては、夏祭り等のイベントごとのお手伝い、そして、イベントの立ち上がりなどのお勉強をさせていただこうと思い、入会を決めました。

これからご指導をよろしくお願い致します。



株式会社 SK PLANNING

佐藤 誠通

この度YEGに入会することになりました、(株)SK PLANNINGの佐藤と申します。

当社は主に、リフォーム工事、介護保険を使った工事などしております。

高齢化がすすんでいます、介護の工事で培った経験、情報をもとに社会に貢献できるよう一所懸命やっていますのでこれからよろしくお願い致します。



S A Y A

勝田 紗綾

福井市順化の片町でS A Y Aというラウンジを経営している勝田紗綾です。

私は勤務時間が夜になるので参加出来ない時も多々ありますが、こんな素敵な会に入れて頂いた縁を大切に交流の輪を広め、先輩方の姿から経営者として人としてのお勉強をさせて頂きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します!!



A i Support

柿原 右章

福井駅前結婚相談所Ai support (アイサポート)の代表を務めております柿原右章と申します。富山から福井へ移住して5年になりますが、とても住みやすく居心地の良さを日々感じています。

仕事では、幸福度No.1の福井県で成婚カップルを多く出せますように、また、YEG活動では、会員の皆様との日々の交流や様々な企画から多くを学び、自分自身を成長させていけたらなと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



株式会社 ミテック

岸田 幸司

平成28年10月に入会させていただきました株式会社ミテックの岸田です。

弊社では自動化装置の設計、製作から精密部品の製造、特殊材料の加工などを行っております。

YEGに入会してまだ日が浅くまだまだ慣れない点多々ありますが、自己の成長と福井YEGのさらなる飛躍の為に一生懸命励みたいと思いますので、ご指導の程、宜しくお願い致します。



ジブラルタ生命保険 株式会社

金 曾 充 孝

はじめまして！新入会員の金曾 充孝と申します。私事です、3年前に157日間自転車日本一周をしてきました。全国を走りまわった様々な経験を活かして福井を全国一番の元気で幸せな街にしていきたい。YEGでも私の信念であります「ありがとう」という魔法の言葉が一人でも多くの方に届いて繋がっていくような活動、実践を心がけていきます！若輩者ではございますが精一杯努力しますのでご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



オーガニックハウジング 株式会社

清嶋 勇太

平成28年11月にYEGに入会させていただきました。

福井市内で工務店をさせていただいております。

昨年は普段の仕事でなかなか出せない方々と交流させていただき、大変貴重な経験をさせていただきました。

これから、YEGの活動を通して自分自身成長させていただき、又、少しでも会のお役に立てればと思っておりますので、これからも宜しくお願い致します。



ソニー生命保険 株式会社

村田 幸治

平成28年7月から入会させていただきました村田幸治と申します。

青年部活動に積極的に参加していきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

新入会員紹介



福井テレビジョン放送 株式会社
斉藤 佑亮

福井テレビ 営業部に勤務している斉藤佑亮と申します。

名前もよく平凡・一般的と言われますが、福井商工会議所青年部の活動では目立つことができるように努力していきたいと思っています。

福井に生まれ育った身としては福井を盛り上げる活動をしているY E Gに入会できたことを非常に嬉しく思います。

24歳というまだまだ未熟な人間ですが、Y E G内では個性となる若い力を全面に出して頑張っていきたいと思います。よろしくお願い致します。



石橋建材 株式会社
石橋 道友

石橋建材(株)に勤めている石橋道友と申します。

雨漏りの調査から防水施工まで一括して行っております。

今年の抱負は、本質を見極め伝える力をつけることです。

昨年8月例会で、自分が思っている事を相手に伝えるということがどれほど難しい事なのかを学びました。

相手の話の意図や思いを瞬時に読み取り、それに対して自分の気持ちをうまく伝えられる人間になれるように、日々の会話の中から訓練していこうと思っています。



一翠
山本文昭

私は福井の繁華街片町にて平成28年4月にクラブ一翠(ひすい)を立ち上げました。

経営者として未熟ですが、まず1歩ずつ地に足をつけ頑張っております。

同じく、福井Y E Gに入会し数カ月しか経っておりませんが、これから福井県の発展の為に、少しでも貢献出来る様に志して参りたいと思います。新しい仲間が増えこれから先、苦しい時、悲しい時、嬉しい時そんな時間を共感出来る様にしていきたいと思っています。これからも宜しくお願い致します。



積水ハウス 株式会社
井上 淳次

この度、新入会させていただくことになりました積水ハウスの井上淳次です。社会人になりましたから11年間福井で仕事をさせていただいております。Y E Gの活動を通じて、より福井に貢献出来るようスキルアップを目指したいと考えております。また、様々な方々と交流を持つことで刺激を受け、自身の成長に繋がれるよう活動に関わっていきたいと思っています。これから宜しくお願い致します。



あじさい会通信

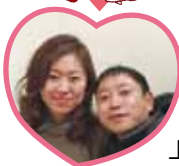
あじさい会会長2年目の吉岡です。昨年の総会会場は、4月28日にオープンしたハピリン。青年部時代より深く街作りに参加してきた我々にとって、現状における福井市のランドマークで総会をしたいと思い、かなり前より計画していました。開業とともに、ビル内をテナント含めて色々と下見し、ハピリンホールでの開催を決定。ケータリングの段取りが、実績もなく若干苦労はしましたが、能舞台の見学もできて、いい感じの会合になったと思います。新入会員10名も加わり、会員総数も100名に限りなく近づきました。

秋は、忘年会を計画。テーマはワイレッドの心。冴えない、古くさいテーマです。とはいえ、中身に手を抜くわけにはいきません。彩りとして、アンサンブル ena、未来のミニコンサートを開催。コカリナ、キーボード、3名の女声コーラス。曲目も参加者に合わせた選曲です。最後は皆、翼の折れかけたメンバーに「翼をください」を合唱して頂き、羽をつけて帰路についていただきました。

商工会議所青年部も、数人で発足してから40年余り。あじさい会組織も歴史を刻むごとにメンバーも増え一つの大きな団体力になってきました。青年部活動にて、声が足りないときは応援にいつでも駆けつけます。後は会員相互、切磋琢磨し、商工業の発展、社会貢献に寄与し、さらなる発展を期待しています。今後まあじさい会をよろしく願います。



結婚
おめでとう



上松悦志会員

1. 平成28年11月1日
2. 高橋みさき
3. 客先の従業員さんで前から知り合いだった。一緒に遊びに行くのがきっかけ。
4. みさきちゃん
5. 幸せ太りした～あと2キロ増えたら離婚です(笑)

1. 結婚日
2. 配偶者のお名前および旧姓
3. なれそめ
4. 相手の呼び方
5. ひと言(夫婦各々)



前田和也会員

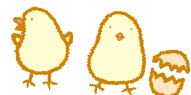
1. 平成28年9月7日(入籍)11月3日(式)
2. 丸田歩美
3. 2人の趣味であるスノーボードがきっかけ
4. あゆみ かず
5. 仕事、家庭、青年部、うまく両立してやっていきます。



天野準一会員

お誕生日
平成28年12月15日
お名前
天野結維(ゆい)
ひと言(赤ちゃんから)
パパ大好き♡♡

こんにちは
赤ちゃん



西木田通信

朝井 新河戸さん、今年度初めての青年部事務局お疲れ様でした！1年振り返って、青年部へのイメージや印象はどうですか？

新河戸 そうですね、皆さんお仕事をしながら青年部としてこんなに沢山の活動をされているんだと驚きました。

朝井

皆さん熱い思いを持って取組んでらっしゃいますからね。あまりに一生懸命で家庭など大丈夫なのか、たまに不安になるくらいですが…。新河戸さんには役員会や例会など様々な事業を担当してもらいましたが、学ぶ部分も多かったと思います。また青年部の方との繋がりが出来、楽しみながら事務局を担当する様子が見られて私も安心でした。

新河戸

最初は、100人以上いらっしゃる皆さんの名前を覚えられるのか不安でしたが：役員会や例会、近プロに行き、皆さんとお話しできるようになってからは特に楽しみながら担当させて頂きました。

朝井

よかったです。最後に今まで事務局させて頂きありがとうございました。そして新河戸さん、次年度は「剛毅果断」に頑張ってください！

新河戸

この流れ、2年前の会報福居にもあったような…。つて朝井さん待つて下さい！来年も、「剛毅果断」で頑張りますように。

